

スマートフォン等の使い方について（PTAからの提言）

初夏の風がすがすがしいころとなりました。保護者の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。平素より本校PTA活動へ格別のご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

さて、スマートフォン等の情報端末やインターネットが、子どもたちにとっても非常に身近な存在となり、インスタグラムなどのSNSの普及は、今や生活する上でたいへん便利なツールとなっています。しかしその反面、使用が深夜に及び家庭学習や睡眠の時間を削って応答することで、生活が不規則になったり学力が低下したりする等の課題や、書き込み内容による友達同士のトラブル等、日々様々な問題も引き起こしています。ニュースでもよく見るようにSNS等によるトラブルや犯罪の被害者・加害者になる事例が増えており、身近な問題となっています。

本校でも、次のようなトラブルが起きています。

- ◆スマホ利用等による睡眠不足・家庭学習時間の減少
- ◆通話アプリ等での悪口や仲間外れ
- ◆なりすまし投稿による誹謗中傷
- ◆プライベートな画像や音声を送り、拡散することによるトラブル
- ◆許可無く誰かの画像などを撮り、拡散するトラブル
- ◆保護者が知らないうちにアカウントを複数作り、匿名のアカウントから暴言や誹謗中傷などのメッセージを送ったり、見知らぬ不特定多数の人とつながってしまったりしてのトラブル

スマホなどは保護者が子どもに持たせているものであり、これらのトラブルに関しては、子どもだけの問題とするのではなく、我々保護者の問題として考えていかなければなりません。

情報モラルに反する行為についての責任は、保持させた保護者にあるのです。保護者としての管理・監督責任を自覚してください。

学校では、情報モラルやネットの危険性等についての指導や、万が一トラブルが発生した場合には、子どもの成長の支援は行ってくれますが、学校に解決や責任を押しつけてはいけません。被害・加害どちらの立場になったとしても、スマホやゲーム機をもたせた以上、その責任は保護者にあるのです。

以上のような意識を強くもって、お子様には使用させてください。安全で充実した日々を過ごすことができるように、一番身近である家庭の力を強め、子どもたちの心と体の健康を守っていきましょう。